



# 原子力産業新聞

2011年6月30日  
 平成23年(第2580号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)  
 会 員 9,500円(1部220円)  
 非会 員 15,000円(1部350円)  
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス [shinbun@jaif.or.jp](mailto:shinbun@jaif.or.jp)

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 玄海原発運転再開で地元合意へ

### 海江田経産相、知事・町長と直接会談

#### 地震・津波対策に一定の理解

#### 地元で説明会開催・放映

海江田万里・経産相は二十九日、佐賀県を訪れ、九州電力・玄海原子力発電所の定期検査後の再起動について、岸本英雄・玄海町長、古川康知事に対し個別に要請した。岸本町長は福島第一原子力発電所事故後の地震対策について理解を示し、再稼働を容認する考えを伝えた。また古川知事も「問題はクリアされた」として、近く最終判断を下すことを示唆した。

海江田大臣の訪問を前に、経済産業省は二十六日、玄海原子力発電所の運転再開に向けて、住民の疑問に直接回答する説明会を佐賀市のケーブルテレビ・スタジオで開催した。同省が停止中の原子力発電所立地地域での住民説明会を行うのは事故後初めて。玄海発電所2号機と3号機は定期検査が実質終了しているものの、今回の福島第一原発

の発生に連動して、古川知事が再開に慎重な姿勢を示していた。

住民側の参加者は地元候補者リストから政府が選出した地域経済団体役員や大学生など七名のみで、古川知事や岸本町長、県議や県民はケーブルテレビやインターネットの生中継で会の様子を視聴した。寺崎宗俊・佐賀新聞客員論説委員がコーディネーターを務めた。

説明会では、まず黒木慎一・保安院審議官が福島第一原発の事故や玄海

原発所で行った安全対策について説明した後、質疑応答を行った。住民から出された玄海原子力発電所の安全性への疑問や事故収束前に運転を再開させる不安などに対し、

国側は同原子力発電所の安全性は確保できていることを強調した。

佐賀県では、八日夜にも県民対象の説明会を県中央の多目的ホールで、公開の場で再度開催し、経産省から説明を受ける。

#### 原発担当相に細野氏 就任会見で 規制体制の見直しも

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

菅直人首相は二十七日、新たに新設する東日本大震災復興対策担当相に松本龍・環境相(防災担当相兼務)を、原子力

## 安全指針見直しを開始

### 安全委 大災害発生で抜本的に



原子力安全委員会は、安全指針の見直しに向けて、二十一日、原子力安全基準・指針専門部会(II号)での検討を開始した。

安全審査指針は、規制行政による原子力施設の設置等の審査

これらうち、原子力安全基準・指針専門部会は、安全設計審査指針、耐震設計審査指針の検討

今後の指針見直しの抜本的議論については、シビリアン規制要件を強化し、タイムスパンについては、二三年を目処に結論を出すとしている。

また菅首相は、今回の原子力事故を受けて、内閣としてはこれまでのエネルギー基本計画を白紙から見直すことを決める議論を始めています。世界的にも議論が沸騰している

また菅首相は、今回の原子力事故を受けて、内閣としてはこれまでのエネルギー基本計画を白紙から見直すことを決める議論を始めています。世界的にも議論が沸騰している

#### この一週間の出来事

- (23日(木)～29日(水))
- IAEAが原子力安全で議長サマリー(24日)
- 東電、福島被災者支援本部を強化(28日)
- 関電など電力6社株主総会、原子力組上(29日)

#### 原産新聞の紙面から

- ◇国内ニュース
  - 産構審、安全確認済みの原子力再開を(2面)
  - 学術会議、電力供給で6シナリオ示す(2面)
  - 福島第一事故後の各国対応を議論(4面)
  - 環境省が海水浴など遊泳の放射能基準(4面)
- ◇海外ニュース
  - 英国、原子力政策声明書を議会に提出(3面)
  - フィンランド新政権が原子力政策を公表(3面)
  - 原子力女性ネットワークが「福島宣言」(3面)

## 世界で最も信頼されている原子力産業情報誌

### Nuclear Fuel / ニュークリアー・フューエル

プラッツ・ニュークリアー・フューエルは、全世界の核燃料サイクル情報を網羅した情報誌です。原子力産業界の政策や価格動向について鍵となる情報を、隔週で提供しています。

### Nucleonics Week / ニュークレオニクス・ウィーク

1960年の創刊以来、プラッツ・ニュークレオニクス・ウィークは原子力発電業界の意思決定サポートツールとして、業界に不可欠な産業ニュースを正確かつ客観的にお伝えしています。

弊社サービスについてはプラッツ東京オフィスまでお気軽にお問い合わせ下さい。

営業代表番号(担当:新藤・吉川)/03-4550-8300 Eメール/[tokyo@platts.com](mailto:tokyo@platts.com) ホームページ/[www.platts.com](http://www.platts.com)



#### プラッツについて

プラッツはニューヨーク証券取引所に上場するマグロー・ヒルカンパニーの一員で、エネルギーや金属市場の情報を配信する世界最大規模を誇る独立系通信社です。